

## オプトアウト用紙

●研究課題名：手術室におけるインシデントとその背景要因の分析

●当院の研究責任者：麻酔科 高野 貴司

●研究目的：手術室に関連したインシデント報告書を分析し、その背景因子を明らかにする。

●研究対象：現行の豊岡病院インシデント報告システムが導入された2018年10月から2021年12月までの期間中、本システムにより提出されたインシデント報告書のうち、中央手術室から提出されたインシデント事例約400件を対象とする。

●利用情報の内容：インシデント報告書をもとに、以下の指標に従って情報を収集・分析する。

1. インシデントの種類と各発生件数（種類例：気管挿管トラブル、薬剤の誤投与、体内遺残、術中の神経・皮膚障害、機器作動異常、患者誤認、異型輸血、手術部位の誤認等）
2. 職種別に分類したインシデントの種類と発生件数（例：医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師など）
3. 重症度別に分類したインシデントの種類と発生件数
4. インシデントの発生状況（曜日、時刻、発生の経緯、対応方法など）

●利用情報の他機関への提供の有無：なし

●資料・データの保管方法：収集した資料・データは、研究責任者、研究指導教員、研究担当者以外が閲覧・処理できないように保存する。資料・データは研究責任者の研究室内の施錠できるロッカー内で管理し、鍵は研究責任者が責任をもって管理する。資料・データの保存期間は、研究終了後10年または結果の最終公表後5年のいずれか遅いものまでの期日に合わせる。保存期間終了後はシュレッダーにて破砕処理を行う。

●利益相反の有無：なし

●問い合わせ先：麻酔科 高野 貴司 TEL 0796-22-6111